グループ経営理念

ワコールグループは、現代社会において果たすべき社会的使命「ミッション」と、80年にわたり受け継がれてきた「創業の精神」を柱として、事業を通じた「社会課題の解決」と「持続的成長」を実現する「サステナビリティ経営」を推進しています。

創業の精神

目 標

世の女性に美しくなって貰う事によって
広く社会に寄与する事こそ
わが社の理想であり目標であります

社 是

わが社は 相互信頼を基調とした
格調の高い社風を確立し一丸となって
世界のワコールを目指し不断の前進を続けよう

経営の基本方針

1. 愛される商品を作ります
2. 時代の要求する新製品を開発します
3. 大いなる将来を考え正々堂々と営業します
4. より良きワコールはより良き社員によって造られます
5. 失敗を恐れず成功を自惚れません

創業者 塚本幸一は「生かされている人生を、世のため人のために尽くそう」と考え、「女性が美しくしていられる社会こそ平和な社会」という信念に基づき会社を設立しました。「すべての人々に美しくなって貰うことによって、広く社会に寄与する」という目標を実現するためには「相互信頼」経営が不可欠であり、「すべてのステークホルダーから信頼される会社にならなければならない」という創業者の想いは、今も従業員一人ひとりに受け継がれています。



創業者 塚本幸一

ミッション

ひとりひとりが 自分らしく美しく いられるように
世の中が 自信と思いやりに あふれるように
からだに こころに
いちばん近いところで 寄り添い続けます



グローバルコーポレートメッセージ

Comfortable inside. Confident outside.

自分らしく美しく。自信と思いやりあふれる世の中に。

統合レポート2026発行にあたって

「統合レポート2026」では、「6つの問いから読み解く、ワコールの変革」をテーマに、ワコールグループが目指す姿と、その実現に向けた取り組みをご紹介しています。

中期経営計画リバイズ（24年3月期～26年3月期）では、事業成長という重要な目標に対して課題を残しました。一方で、収益基盤の強化やROICマネジメントの導入、資産効率の改善など、資本効率を意識した経営への転換は着実に進展しました。私たちはその成果と課題の双方を真摯に受け止め、新たな中期経営計画のもとで、持続的な成長と企業価値向上の実現に取り組んでいます。

本レポートでは、国内事業・海外事業の改革、資本効率の向上、サステナビリティ、人財戦略、ガバナンスなど、企業価値向上に向けた重要なテーマについて、経営陣や事業責任者、社外取締役がそれぞれの立場から率直にお答えしています。私たちがどのような課題認識を持ち、何を変えようとしているのか、そしてどのような未来を目指しているのかを感じていただければ幸いです。

私自身は、「この会社は何を大切にし、どこへ向かおうとしているのか」という本質を、良い話だけでなく課題も含めて率直にお伝えしていきたいと考えています。そうした対話を重ねることが、従業員、株主・投資家の皆さま、取引先をはじめとするステークホルダーとの相互理解と信頼につながり、ひいては企業価値向上の原動力になると信じています。

本レポートが皆さまとの対話を深めるきっかけとなり、ワコールグループへの理解をさらに高めていただく一助となれば幸いです。今後も誠実なコミュニケーションを通じて、持続的な企業価値向上に努めてまいります。



株式会社ワコールホールディングス
取締役 執行役員
廣岡 勝也

6つの問いから読み解く、ワコールの変革

（株）ワコールホールディングスでは、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションの一環として、統合レポートを発行しています。本レポートでは、ワコールグループの価値創造の考え方や企業価値向上に向けた取り組みについて、事業・財務・非財務の情報を交えながらお伝えしています。

当社グループは現在、企業価値向上に向けた変革を進めています。本年度の統合レポートでは、投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまが、今のワコールに対して抱く関心や疑問を「6つの問い」として整理し、それらに経営陣や事業責任者、社外取締役が答える構成としました。

国内事業の収益性向上、海外事業の成長、資本効率の改善、人財戦略など、企業価値向上に向けた重要テーマについて、それぞれの視点から率直に語ることで、当社グループが目指す変革の方向性と、その実現に向けた取り組みをお伝えします。

Q1. 今の課題は何か。これから何を目指すのか

Q2. 国内事業をどのように変えていくのか

Q3. 海外事業をどのように拡げていくのか

Q4. 資本効率の向上にどう取り組んでいくか

Q5. 社会課題解決と事業成長をどう両立していくのか

Q6. 戦略を支えるガバナンスをどう機能させているか

ワコールグループ統合レポート2026

01　グループ経営理念
02　統合レポートの編集方針
03　目次

Q1 今の課題は何か。これから何を目指すのか

05　トップメッセージ
08　価値創造プロセス
09　バリューチェーン
10　マテリアリティ（重要課題）
12　中長期経営戦略フレーム「VISION 2030」
13　中期経営計画リバイズ（24年3月期～26年3月期）の振り返り
14　中期経営計画2029の概要

Q2 国内事業をどのように変えていくのか

18　国内トップメッセージ　国内戦略
21　5つの事業変革
25　【特集1】構造改革室新設
26　【特集2】ワコールのものづくり

Q3 海外事業をどのように拡げていくのか

28　実効性を高める体制 ／ 地域別ポートフォリオ戦略
29　海外トップメッセージ　海外戦略（欧米本部）
31　海外トップメッセージ　海外戦略（中国・アジア本部）

Q4 資本効率の向上にどう取り組んでいくか

34　CFOメッセージ

Q5 社会課題解決と事業成長をどう両立していくのか

38　【特集3】人的資本対談
40　人的資本の強化
44　環境への対応
45　人権尊重の取り組み
46　CSR調達活動
47　社会貢献活動／外部評価

Q6 戦略を支えるガバナンスをどう機能させているか

49　【特集4】ガバナンス対談
51　コーポレート・ガバナンス
56　役員一覧

About Wacoal

58　ワコールグループの歩み
59　ブランド紹介
61　11カ年財務サマリー
62　5カ年非財務サマリー
63　エンゲージメント
64　投資家情報／Webサイトのご案内／編集後記

■将来予測表記に関する特記

本冊子に記載の内容のうち、業績予測は現在入手可能な情報に基づいた将来予測表記です。これらの将来予測表記には、既知、未知のリスクや仮定等が含まれており、それらの可変要因やその他のリスク要因によって、実際の成果や業績等が、記載の予測とは大きく異なる可能性があります。

■会社概要（2026年3月31日現在）

会　社　名　株式会社ワコールホールディングス
本社所在地　〒601-8530 京都府京都市南区吉祥院中島町29
創　　業　1946（昭和21）年6月15日
創　　立　1949（昭和24）年11月1日
資　本　金　13,260百万円
代表取締役 社長執行役員　矢島 昌明

事業内容
インナーウェア（主に婦人のファンデーション、ランジェリー、ナイトウェアおよびリトルインナー）、アウターウェア、スポーツウェア、その他の繊維製品および関連製品の製造、卸売販売および一部製品の消費者への直接販売等並びに、飲食・文化・サービス
従業員数（連結）　14,784人（平均臨時雇用者数除く）

対象組織：株式会社ワコールホールディングス、国内外のグループ会社　※関連する会社は右記に記載しています　https://www.wacoalholdings.jp/group/wacoalgroup/
対象期間：2025年4月1日～2026年3月31日（一部に過去および直近のものを含みます）